

進捗状況報告シート

(2011年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	社会学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.1 教育目標、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針
小項目	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
要素	学士課程・修士課程・博士課程・専門職学位課程の教育目標の明示 教育目標と学位授与方針との整合性 修得すべき学習成果の明示
小項目	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
要素	教育目標・学位授与方針と整合性のある教育課程の編成・実施方針の明示 科目区分、必修・選択の別、単位数等の明示
小項目	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員（教職員および学生等）に周知され、社会に公表されているか。
要素	周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

II. 自己点検・評価(2010.5.1～2011.4.30の進捗状況報告)

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の評価を行っている。進捗評価はA～Dの4段階とし自ら評価した。A～D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. スタディスキル、社会学のコアとなる知識・能力、領域横断的な知識・能力を柱とする学位授与方針を明確化する	→学位授与方針の明確化と公表	B	A			
2. 継続的演習教育、体系的で幅広い講義科目などを柱とする教育課程の編成・実施方針を明確化する	→教育課程の編成・実施方針の明確化と公表	B	B			
3. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を内外に周知・公表する	→教務心得、履修心得、学部HP、大学案内、学部広報誌などの広報媒体において、正しくかつ効果的に広報されているかどうかの確認	B	B			
4. 学位授与方針、教育課程の編成・実施方針の適切性について、定期的検証（毎年）を行い、必要な改善を行う	→定期的検証（毎年）の結果と改善内容の公表	B	B			

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《現状の説明》 ※ 全小項目について記述が必要

小項目6.1.1	6.1.1 教育目標に基づき学位授与方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(学位授与方針)
	<p>1. [態度・関心] 建学の精神にもとづく態度と社会・文化・人間への関心</p> <p>①自らを律する主体としての強さを身につけ、それにもとづいて、他者と協力してよりよい関係や社会を築くために貢献していかうとする基本的な態度を身につけている (スクールモットーである“Mastery for Service”の態度)。</p> <p>②現代社会やそこに生きる人間、さらに異文化や多文化への深い関心をもち、生涯にわたって学び、考えていかうとする意欲をもっている。</p> <p>2. [知識・思考] 社会学を核とする幅広い学際的知識と社会的思考力</p> <p>①社会学を核とする幅広い学際的な知識を身につけ、現代社会やそこに生きる人間が抱える問題と解決に向けての実践について理解するとともに、グローバル化にともなう社会現象や諸問題についての知識を身につけている。</p> <p>②社会的な視点と思考力 (社会的想像力) を身につけ、論理的かつ実証的な思考や判断ができる。</p> <p>③社会調査の実践的な意義を理解し、社会調査についての基本的な知識を身につけている。</p> <p>3. [技能・表現] 実践的なジェネリック・スキル (汎用的技能)</p> <p>①生涯にわたって学習するための技能 (ICTを用いた情報収集・分析・評価の能力、論理的・批判的な思考能力、数量的スキル、表現・伝達能力など) を身につけている。</p> <p>②日本語および一つ以上の外国語によって、的確に理解 (読み・聞き) し、わかりやすく表現 (書き・話す) するためのコミュニケーション・スキルを身につけている。</p> <p>③社会調査についての基礎的な技能を身につけている。</p> <p>4. [統合的能力] 総合的学習成果としての課題解決能力</p> <p>上記1～3の学習成果、すなわちソシオリテラシーを総合的に活用して、自ら課題を発見し、その課題を社会的に分析・解決することができる能力を身につけている。</p> <p>(説明)</p> <p>学位授与方針は、概ね明示されていたが、改めて観点別に整理し明確化すべく検討を進め、カリキュラム検討委員会および学部長室委員会を経て、2011年2月16日の教授会において、上記の学位授与方針が承認された。</p>
☆ 小項目6.1.2	6.1.2 教育目標に基づき教育課程の編成・実施方針を明示しているか。
	(方針明示の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 明示している <input type="radio"/> 明示していない
	(教育課程の編成・実施方針)
	<p>建学の精神を身につけるためのキリスト教科目 (A群科目=必修)、言語的スキルを身につけるための言語教育科目 (A群科目=必修)、論理的・実証的思考力や問題解決能力を育成するための、基礎演習から研究演習に至る4年間の演習教育 (A群科目=必修)、および社会学を核とする幅広い学際的な知識に基づいた柔軟でバランスのとれた思考力、現実社会との実践的な関わりに基づいた問題解決能力、そして急速に進むグローバル化に対応した視点を身につけるための3系7領域に及ぶ幅広い講義科目 (B群科目=選択必修) を系統的に配置する。</p> <p>(説明)</p> <p>教育課程の編成・実施方針は概ね明示されているが、学位授与方針の整理・明確化に伴い、改めて教育課程の編成・実施方針を整理・明確化すべく、カリキュラム検討委員会および学部長室委員会で原案を検討しており、2011年6月までには、教授会で承認される見通しである。</p>
小項目6.1.3	6.1.3 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針が、大学構成員 (教職員および学生等) に周知され、社会に公表されているか。
	(周知・公表の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 周知・公表している <input type="radio"/> 周知・公表していない
小項目6.1.4	(説明)
	改めて整理・明確化した学位授与方針は、教育課程の編成・実施方針の教授会承認 (2011年6月予定) を待って、学部HPに公開を予定している。その後、他の媒体を通して、大学構成員 (教職員および学生等) および社会に対する広報を進めていく予定である。
小項目6.1.4	6.1.4 教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について定期的に検証を行っているか。
	(検証の有無) いずれかにチェックしてください。 →→→→→→→→→→ <input checked="" type="radio"/> 検証している <input type="radio"/> 検証していない
小項目6.1.4	(説明)
	教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性については、毎年、カリキュラム検討委員会および学部長室委員会で検証しており、上記の学位授与方針の整理・明確化、および教育課程の編成・実施方針の整理・明確化 (2011年6月教授会承認予定) は、その成果である。
その他	

《評価指標データ》

カリキュラムの編成や体系等を常に検討する委員会の有無と開催頻度

必修・選択ごとの開設授業科目数

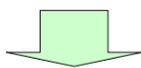
系列別卒業必要単位数

☆ 追加データがあれば追加してください。

◎**効果が上がっている事項** ※目標の進捗評価が「A」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(1)】**効果が上がっている事項** 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	改めて観点別に整理し明確化すべく検討を進め、カリキュラム検討委員会および学部長室委員会を経て、2011年2月16日の教授会において、上記の学位授与方針が承認された。
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(1)】**伸長させるための方策**

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎**改善すべき事項** ※目標の進捗評価が「D」の場合は必ず記述してください。

【点検・評価(2)】**改善すべき事項** 注)出来るだけ内容を裏付ける客観的根拠を記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】**改善方策**

注)出来るだけ手順や方法を明確にするなど行動計画を具体的に記述してください。

小項目6.1.1	
小項目6.1.2	
★小項目6.1.3	
小項目6.1.4	
その他	

◎**自由記述**

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★その他 (自由記述)	
----------------	--

Ⅲ. 学内第三者評価

＜評価専門委員会の評価＞

【学外委員】

○順調に改善が進んでいると認められます。

【学内委員】

○各種委員会での議論を経て、教授会で学位授与方針が具体的に承認・明示されたことは大変評価できます。教育課程の編成・実施方針の明示・公表・検証についても具体的に検討が進められており評価できます。

○学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の策定、明示が着実に進んでいます。今後の広報ならびに適切性の定期的な検証に期待します。

【大学基準協会：評価に際し留意すべき事項】

○小項目6.1.1

基盤評価：「課程修了にあたって修得しておくべき学習成果、その達成のための諸要件（卒業要件・修了要件）等を明確にした学位授与方針を、理念・目的を踏まえ、設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.2

基盤評価：「学生に期待する学習成果の達成を可能とするために、教育内容、教育方法などに関する基本的な考え方をまとめた教育課程の編成・実施方針を設定していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.3

基盤評価：「公的な刊行物、ホームページ等によって、教職員・学生ならびに受験生を含む社会一般に対して、学位授与方針、教育課程の編成・実施方針を周知・公表していること」

達成度評価：なし

○小項目6.1.4

基盤評価：なし

達成度評価：「検証を実施する体制を整備し、責任を明確にするなどしたうえで、教育目標、学位授与方針および教育課程の編成・実施方針の適切性について、恒常的かつ適切に検証を行っている」

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

なし

☆